

# 一 般 質 問 要 綱

平成 30 年第 10 回 12 月 定例会

| 通告順 | 議席番号 | 質 問 者 | 質 問 事 項               | 質 問 要 旨  |
|-----|------|-------|-----------------------|--|
| 1   | 18   | 遠藤金美  | 1 鳥獣害対策について           | <p>(1) 野生獣（ニホンザル、イノシシ、ツキノワグマ、ニホンジカ、カモシカ、アライグマ、ハクビシン等）について</p> <p>ア 今年4月から直近の出没、目撃情報件数と捕獲数及び農地、林業、農産物、家屋への被害状況について主な地区名、集落名を伺いたい。</p> <p>イ 昨年までと今年とを比較しての特徴や傾向を伺いたい。</p> <p>(2) 野生鳥獣（イノシシ、ツキノワグマ、ニホンジカ、キジ、ヤマドリ）の原発事故直後と最近の放射性物質の数値の推移及び今後の軽減の見通しを伺いたい。</p> <p>(3) ICT（情報通信技術）利活用導入によるわな監視通信システムと、けもの検知センサーの設置は、その後どのようなになっているのか伺いたい。</p> <p>(4) 捕獲の民間委託導入に向けた調査・研究はどのような経過になっているのか伺いたい。</p> <p>(5) 現在、市では鳥獣の被害状況の取りまとめや対策について、市民部と産業部で担当しているが、年々被害件数、面積、地区が拡散・拡大している。</p> <p style="padding-left: 2em;">迅速性、効果の点から一本化した組織の必要性を強く感じているが、市の考えについて伺いたい。</p> <p>(6) 国・県へ抜本的な対策を求めるべきと思うが、市の考え方について伺いたい。</p> |
|     |      |       | 2 道路及び河川の環境の整備・美化について | <p>(1) 道路について</p> <p style="padding-left: 2em;">国道、県道、市道及び林道の沿道や街路樹、植木付近の除草や支障木・危険木と思われる立木の伐採・枝払い並びに縁石付近の土砂の除去の現状と人口減少、高齢化の進んでいる集落や地区間の今後の維持管理の方法・体制について伺いたい。</p> <p>(2) 河川について</p> <p style="padding-left: 2em;">景観、防災、減災の観点からも河川の環境整備は重要であり、また、急がなければならない。</p> <p style="padding-left: 2em;">主な一級河川の田付川、押切川、濁川、日橋川、阿賀川、一ノ戸川、大塩川の除草及び支障木の伐採の現状と今後の計画について伺いたい。</p>   |

| 通告順 | 議席番号 | 質 問 者  | 質 問 事 項   | 質 問 要 旨   |
|-----|------|--------|---|---|
| 2   | 10   | 後藤 誠 司 | <p>1 新体制後の農業委員会活動の進捗状況等について</p> <p>2 地すべり災害の迂回路対策と住民説明会での意見について</p> | <p>今年 1 月から農業委員会は、農業委員 19 名、農地利用最適化推進委員 30 名の新体制となってスタートされましたが、農業委員会活動の現在の進捗状況等について以下の点を伺います。</p> <p>(1) 農業委員及び農地利用最適化推進委員の農地利用最適化推進に向けた活動状況の概要について伺います。</p> <p>(2) 遊休農地及び荒廃農地面積と、それぞれの農地面積に占める割合について、平成 27 年度から平成 29 年度末現在の数値を旧市町村ごとに伺います。</p> <p>(3) 先日、市長宛てに提出された「農地等利用最適化推進施策の改善に関する意見書」の概要について伺います。</p> <p>(4) 担い手への農地集積の際の「出し手」及び「受け手」に対する交付金の内容について伺います。</p> <p>先日の全員協議会において、高郷町地すべり災害の対応について説明がありましたが、迂回路対策と住民説明会での意見について以下の点を伺います。</p> <p>(1) 迂回路整備予定について、10 箇所の舗装補修工事が平米数で示されましたが、延長は何mか箇所ごとに伺います。また、オーバーレイ工法及び予定工期についても伺います。</p> <p>(2) 市道赤岩・立岩線側溝工事の内容と工期について伺います。</p> <p>(3) 迂回路の除雪について伺います。</p> <p>ア 県道新郷荻野停車場線の赤岩から明神橋間の路線は狭い区間であり、除雪に支障をきたさないのかどうか伺います。また、専用除雪車の配備についても伺います。</p> <p>イ 明神橋から県道喜多方西会津線までは、本市と西会津町のどちらが除雪をするのか伺います。</p> <p>(4) 揚津地区住民説明会での意見について伺います。</p> <p>ア 耕地や県道の災害復旧に当たって、県道方線の改良を求める意見について伺います。</p> <p>イ 県道の狭隘部分の改良を求める意見について伺います。</p> <p>ウ 新潟・福島豪雨で浸水した県道部分のかさ上げについて伺います。</p> |

| 通告順 | 議席番号 | 質 問 者 | 質 問 事 項              | 質 問 要 旨   |
|-----|------|-------|----------------------|---|
| 3   | 8    | 遠藤吉正  | 1 観光施策について           | <p>(1) 広域連携による観光振興について</p> <p>ア 市長は道の駅の連携による観光振興を掲げているが、具体的にどのように取り組むのか伺う。</p> <p>イ 6道の駅による「西・奥会津ネットワーク宣言」が採択されたが、この連携をどのように捉えているのか。また、本市は今後どのような連携を図るのか伺う。</p> <p>ウ 米沢・福島・喜多方によるトライアングル構想について、どのように検討したのか伺う。</p> <p>(2) アクセス整備による観光振興について</p> <p>ア 喜多方駅へのリバティ会津・リレー号の乗り入れについて、また、高速バスの増便について運行事業者への要望活動の進捗状況について伺う。</p> <p>(3) 関係団体との連携による観光振興について</p> <p>ア JR東日本・東北観光推進機構・旅行会社と現在どのような連携を行っているのか。また、観光振興のため今後どのような働きかけを行うのか具体的な施策を伺う。</p> <p>(4) 「蔵とラーメンのまち」による観光振興について</p> <p>ア 旧甲斐家蔵住宅の利活用についての進捗状況について伺う。</p> <p>イ 「ラーメンのまち」の情報発信について伺う。</p> |
| 4   | 9    | 渡部一樹  | 1 観光振興について           | <p>(1) 遠藤市政における観光振興策の基本方針について伺いたい。</p> <p>(2) 総合計画では観光客入込数など4つの指標を設定し、それぞれ目標を掲げているが、実現のための具体策について伺いたい。</p> <p>(3) 関係団体からも要望が出ている「観光ビジョン」を策定する考えはあるのか見解を伺いたい。</p> <p>(4) 旧甲斐家蔵住宅の活用に係る検討状況について伺いたい。</p> <p>(5) 喜多方観光物産協会の法人化と経営基盤の強化策について伺いたい。</p>   |
| 5   | 25   | 山口和男  | 1 異常気象による本市の被害総額について | <p>(1) 9月議会で質問をしましたが、その中で、水稲干ばつ被害のみで被害総額は1,585万円であり、8月23日現在で干ばつの影響などにより出穂していない圃場が13.2ha発生しており、他の農畜産物については品質低下</p>   |

| 通告順 | 議席番号 | 質 問 者 | 質 問 事 項             | 質 問 要 旨  |
|-----|------|-------|---------------------|--|
|     |      |       |                     | <p>等は見られるものの、被害にまでは至っていないとの答弁でありました。</p> <p>今秋の収穫も終わり、最終集計が出ていると思いますが、実際の被害額は、見込み並びに昨年との比較ではいかがか伺います。</p>  |
|     |      |       | 2 喜多方綾金工業団地について     | <p>(1) 立地予定企業は、申し込みいただいた輸送用機械器具製造業 1 社とのことですが、確定する時期はいつでしょうか伺います。</p> <p>(2) 問い合わせ等をいただいた企業は数社あるとのことですが、具体的な進捗状況を伺います。</p> <p>(3) 街路灯、進入路の案内板の設置について伺います。</p> <p>(4) 津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金について、申し込みいただいた企業に対して十分に説明を申し上げ、準備を滞りなく進めているのか伺います。</p> |
|     |      |       | 3 奨学金収入未済額について      | <p>(1) 過年度、現年度分の一般会計と基金の合計では約 1 千万円ですが、回収の取り組み状況を伺います。</p> <p>(2) 保証人が償還金を支払う場合は、全額の 2 分の 1 でよいとの法的根拠と、市教育委員会ではこの制度を理解していたのでしょうか伺います。</p> <p>(3) 償還額が 2 分の 1 となることを保証人の方へきちんと周知をしていたのかどうか伺います。また、徴収の事例の有無はいかがでしょうか伺います。</p>                        |
|     |      |       | 4 水道法改正案について        | <p>(1) 所有権を公的機関に残したまま特別目的会社として設立される民間事業者が運営を行うスキーム、コンセッション方式が今国会で成立すると言われておりますが、それに伴い県の広域連携の推進に向けた動きの進捗状況を伺います。</p> <p>(2) 世界の中で、水道事業が民営化された地域での特徴的な動きを示してください。</p> <p>(3) 市長はこの改正案が成立した場合の見解を示してください。</p>   |
| 6   | 24   | 佐原正秀  | 1 森林経営管理制度の取り組みについて | <p>信用基金による経営の改善発達に関わる助言や森林・木材産業改善償還期間の延長、国有林野事業における受託機会の増大への配慮などを行うため、新たな森林管理システムが来年 4 月より施行され、意欲ある森林経営者や森林担い手の方々にとってはよい方向性を見出せるものと期待されます。</p>   |

| 通告順 | 議席番号 | 質問者 | 質問事項                    | 質問要旨  |
|-----|------|-----|-------------------------|---|
|     |      |     |                         | <p>そこで森林経営管理制度の取り組みの有利性についてお尋ねいたします。</p> <p>(1) 森林経営管理制度の概要について</p> <p>(2) 森林経営管理の現状と将来像について</p> <p>(3) 森林経営管理制度により期待される効果について</p> <p>(4) 林業への高まる期待の対応について</p> <p>(5) 築き上げた資源をいかに将来へつなげるかについて</p> <p>(6) 森林の多面的機能発揮の前提となる林業について</p> <p>(7) 林業再生が地域経済を底上げする対策について</p>  |
|     |      |     | 2 鳥獣害に強い地域づくりについて       | <p>イノシシやサルなどの野生動物が田畑に侵入して、農作物を食い荒らす被害が大きな社会問題になっております。全国で発生している野生動物による農作物被害額は年間 200 億円前後で、20 年間推移しております。</p> <p>一方、獣類の捕獲頭数は年々増加し、現在は年間 100 万頭以上が捕獲されておりますが、捕獲しても被害が減らないのはなぜでしょうか。</p> <p>専門家の話によると、その理由は総合対策を怠っているからだということであります。</p> <p>本来であれば、柵を設置して畑への侵入を防ぐ工夫をしたり、地域ぐるみで野生動物を山へ追い払ったりと、農業の現場に視点を置いた総合的な対策が求められます。</p> <p>そこで本市の対策についてお尋ねいたします。</p> <p>(1) 野生鳥獣による被害と対策について</p> <p>(2) 鳥獣被害防止特別措置法による対策について</p> <p>(3) 市民講座によるリーダーの養成について</p> <p>(4) 鳥獣害対策システムの導入について</p> <p>(5) ICT 機器の利用によるイノシシ対策について</p> <p>(6) グレーチングによる鳥獣害対策について</p> <p>(7) イノシシによる被害対策支援について</p> |
|     |      |     | 3 買い物リハビリによる健康寿命アップについて | <p>高齢者をスーパーまで送迎し、買い物を通して身体機能の維持を図る。これがショッピングリハビリであり、健康寿命アップを図るためのシステムであります。</p> <p>この取り組みは、行政が音頭を取り、複数の介護事業所と商業施設が連携して行う新事業であります。</p>   |

| 通告順 | 議席番号 | 質 問 者 | 質 問 事 項           | 質 問 要 旨   |
|-----|------|-------|-------------------|---|
|     |      |       |                   | <p>運転免許証の返納などをきっかけに高齢者が閉じこもりがちになり、運動機能が衰えたり、認知症になったりするケースも多く、外出を伴う買い物を支援することで健康寿命を延ばす発想であります。</p> <p>リハビリのポイントは、歩く、手を伸ばす、しゃがむといった運動面のほかに、会話を楽しんだり、会計をしたりと脳の活性化も期待できます。</p> <p>そこで新事業体制の組織づくりについてお尋ねいたします。</p> <p>(1) 買い物でリハビリ新事業の導入について<br/> (2) 商業施設の空きテナント利活用について<br/> (3) まちづくり・行政プロジェクトの取り組みについて<br/> (4) 健幸志向のプロデュースの取り組みについて<br/> (5) 実験運用での成果と今後の取り組みについて<br/> (6) これからの社会参加支援のあり方について<br/> (7) 医療介護費削減の取り組みについて<br/> (8) 商業施設における高齢者の集客について<br/> (9) 新事業における将来的ビジョンについて</p> |
| 7   | 7    | 上野利一郎 | 1 本市図書館の運営と施設について | <p>本市における図書館運営は、指定管理者制度導入後 9 年目となるが、本市の図書館利用者のための利便性や各種企画、または施設のハード面についてどのような課題があるのか、以下の 4 点について伺います。</p> <p>(1) 利用者数の推移と図書館費等について伺います。</p> <p>ア 指定管理者制度導入直後は対年比 110% で利用者が増えていたが、ここ 3 か年では減少傾向にあることから、どのように考察されているのか伺います。</p> <p>イ 過去 3 か年の図書館費（資料費）と蔵書数の推移について伺います。</p> <p>ウ 来館者を増やす取り組みについて伺います。</p> <p>(2) 利用者要望の取り入れ方法について伺います。</p> <p>ア 利用者懇談会の実施状況について伺います。</p> <p>イ 懇談会の内容が、運営面にどのように反映されたのか伺います。</p>   |

| 通告順 | 議席番号 | 質 問 者 | 質 問 事 項          | 質 問 要 旨   |
|-----|------|-------|------------------|---|
|     |      |       |                  | <p>(3) 市内学校図書館との連携について伺います。<br/>ア 図書館文庫の実施校とその効果について伺います。</p> <p>(4) 施設の老朽化への対応について伺います。<br/>ア これまでの長寿命化対策について伺います。<br/>イ 現在の施設面での問題点について伺います。<br/>ウ 複合施設への移転が検討されているが、図書館利用者のこれまでの要望が十分に施設設計に盛り込まれるのかどうか伺います。</p>  |
|     |      |       | 2 高齢者除雪支援施策について  | <p>高齢者の除雪支援体制も事業の課税条件が緩和され、対象世帯が増え、さらに交付枚数が増える。高齢者の除雪要請の受け入れに、これまでの委託事業者の他に自主防災組織などが増える予定である。果たして要請と除雪作業に関して円滑に実施できるのか、以下の2点について伺います。</p> <p>(1) 秋の行政懇談会での説明後、請負団体についての相談状況について伺います。<br/>(2) 地域密着型の請負団体が昨年より増える見込みについて伺います。</p>   |
| 8   | 16   | 齋藤 仁一 | 1 教育行政について       | <p>(1) 小・中学校適正規模・適正配置について、保護者及び地域意見交換会が実施され、その結果がまとまったが、市はこの結果をどのように受け止め、どのように分析したのか伺いたい。</p> <p>(2) 適正規模・適正配置基本方針案について、今後どのような手順とスケジュールで作成していくのか伺いたい。</p> <p>(3) 保護者及び地域意見交換会の結果を受けて、市は現段階で適正規模・適正配置についてどのような課題や問題点があると認識しているのか伺いたい。</p> <p>(4) 市内小・中学校でのいじめ及び不登校の実態(2016年度以降)はどのようになっているのか伺いたい。</p> <p>(5) いじめ及び不登校に対する対応はどのようになっているのか伺いたい。</p> |
|     |      |       | 2 地域公共交通網の整備について | <p>(1) 地域公共交通の各部門における過去3年間の市の経費負担の推移はどのようになっているのか。また、市は財政負担の上限について考えているのか伺いたい。</p>  |

| 通告順 | 議席番号 | 質 問 者 | 質 問 事 項                     | 質 問 要 旨   |
|-----|------|-------|-----------------------------|---|
|     |      |       | 3 財政運営について                  | <p>(2) 特に予約型乗合交通について、利用者の方々は予約の方法、便数、ルート等を含めて課題があると受け止めているが、これらに対する市の具体的な改善策について伺いたい。</p> <p>(3) 地域公共交通再編実施計画の調査事業についてどのようなになったのか。また、その結果を受けた再編実施計画案策定までの手順とスケジュールについて伺いたい。</p> <p>(1) 普通交付税が段階的に縮減されている中で、市民による行政への要望は多岐にわたっているが、来年度の財政運営に対する基本的な考えは何か伺いたい。</p> <p>(2) 今後、小中学校冷房設備整備事業、旧喜多方商業高校及び旧県立病院跡地の利活用、市道豊川・慶徳線（外環状道路）建設など大型事業が計画されているが、今後の取り組みの方策と財政運営の考え方について伺いたい。</p> |
| 9   | 13   | 長澤勝幸  | 1 予定される公共事業の予算の確保、財政見通しについて | <p>(1) 当面する大規模事業計画の見通しについて</p> <p>ア 継続事業としての「V-L o w災害情報連携システム構築事業」などの整備の今後の見通しはどうか。</p> <p>イ 新たな「小中学校エアコン設置事業」など現時点で想定される長期的・大規模事業はどういったものがあるのか。</p> <p>(2) 想定される財政規模、有利な起債・交付金の見通しについて</p> <p>ア 有利な起債や交付金など財政確保の見通しをどのように想定しているのか。</p> <p>イ 新たな事業が計画される中で、中期財政計画及び市債バランスの基本的方針はどうか。</p>   |
|     |      |       | 2 公共施設等総合管理計画に基づく取り組みについて   | <p>(1) 公共施設等総合管理計画の進捗状況について</p> <p>ア 公共施設の再編計画や各施設の改修計画など個別計画が策定されるが、進捗状況はどうか。</p> <p>イ 学校や市営住宅が占める割合は半数以上で、小・中学校の適正規模・適正配置の取り組みと市営住宅の老朽化は深刻な課題であるが、どのような方針で進めるのか。</p> <p>ウ 国において「公共施設等適正管理推進事業債」が創設されたが、裏付けとなる財源について検討されているのか。</p>   |

| 通告順 | 議席番号 | 質問者   | 質問事項                               | 質問要旨   |
|-----|------|-------|------------------------------------|--|
|     |      |       |                                    | <p>エ 老朽化が進む公共施設など長期的な視点で公共サービスの提供が求められる中市の業務体制をどう整えて進めるのか。</p> <p>(2) 旧県立喜多方病院跡地および旧県立商業高等学校跡地の施設整備計画について</p> <p>ア コンサルタントに委託され基本構想の調査を実施し、取りまとめられているが、どのように分析されているのか。また、庁内にプロジェクトチームが設置され、「基本構想」、「基本設計に係る予算」など今後どう示されるのか。</p> <p>イ 旧県立喜多方病院跡地活用の事業内容・実施の見通しはどうか。</p> <p>ウ 旧商業高等学校跡地活用における複合化施設事業内容・実施の見通しはどうか。また、「県からの土地の譲与・無償貸し付け」についての検討はどうなっているのか。一方で土地購入の場合の譲渡価格、具体的な財源の見通しはどうか。</p> <p>エ 複合施設の建設・運営について、市はPPP・PFIなどの活用の協議はどうなっているのか。</p> <p>オ 岩手県紫波町における取り組みと実績を先進事例として参考にすべきと考えるがどうか。</p> |
| 10  | 11   | 菊地とも子 | 1 生活困窮者自立支援制度について                  | (1) 生活困窮者自立支援事業について  |
|     |      |       | 2 障がい者支援について                       | (1) ヘルプマーク・ヘルプカードの取り組みについて<br>(2) コミュニケーション支援ボードの導入について  |
|     |      |       | 3 健康増進について                         | (1) 健康ポイント事業について   |
| 11  | 3    | 小島雄一  | 1 異常気象が農業に業に及ぼす影響と対策、本市の農業のあり方について | <p>今夏の異常気象が本市の基幹産業である農業に及ぼす影響が心配されます。</p> <p>農家の収入減少は農家自体が困るだけでなく、地域経済全体にも大きな影響があることを思えば、正確な実態の把握と来春に向けた対策が必要であります。</p> <p>そこで以下の質問をいたします。</p> <p>(1) 水稻の収穫量はどうか伺います。</p> <p>(2) 水稻以外の主要作物の収穫量はどうか伺います。</p> <p>(3) 収入減少の対策を伺います。</p> <p>(4) 来年度の生産調整や産地交付金の基本的な考え方を伺います。</p>   |

| 通告順 | 議席番号 | 質 問 者     | 質 問 事 項               | 質 問 要 旨   |
|-----|------|-----------|-----------------------|---|
|     |      |           |                       | (5) 遊休農地（荒廃農地）の動向について伺います。  |
|     |      |           | 2 特別の教科道徳について         | <p>本年度から小学校で始まり、中学校では来年度から開始される「特別の教科道徳」について伺います。</p> <p>背景には平成 23 年 10 月に大津市で発生した中学生のいじめ自殺があり、これをきっかけに政府の教育再生実行会議が教科化を提言し、平成 27 年に導入が決定され、本年度からの実施となっています。</p> <p>英語教育と I T 教育も同時に進められ、教育現場の負担が増大している中、実態はどのようになっているのか伺います。</p> <p>(1) 時間数、教材、担当者など概要を伺います。<br/> (2) 評価の方法を伺います。<br/> (3) 父兄の反応はどうか伺います。<br/> (4) 人づくりの指針など本市独自の考えがあるのか伺います。<br/> (5) ゲームなどメディア対策・指導はどのようになっているのか伺います。</p> |
| 1 2 | 1 2  | 小 林 時 夫   | 1 教育行政について            | <p>(1) いじめ・不登校問題について<br/> ア いじめ・不登校の現状について<br/> イ いじめ・不登校対策について</p> <p>(2) 防犯カメラの設置について<br/> ア 防犯カメラ設置における検証結果について<br/> イ 今後の防犯カメラの設置について</p> <p>(3) 児童生徒のカバンを軽くする対策（置き勉強対策）について</p>  |
|     |      |           | 2 豊川・慶徳線道路整備事業について    | <p>(1) 豊川・慶徳線道路整備の現状と課題について<br/> (2) 今後の進め方と体制強化について</p>  |
|     |      |           | 3 今後の地域公共交通について       | <p>(1) デマンド交通の見直しについて<br/> (2) 地域巡回バスについて</p>   |
| 1 3 | 1    | 田 中 和 加 子 | 1 市長の政治姿勢について         | <p>(1) 消費税 10%増税に対する認識を伺う。<br/> (2) 国民健康保険税の均等割についての認識を伺う。</p>  |
|     |      |           | 2 市内小・中学校へのエアコン設置について | (1) なぜリースでの設置にしたのか伺う。   |
|     |      |           | 3 旧県立病院跡地の利活用について     | (1) 現在の考え方について伺う。   |
|     |      |           | 4 高齢者世帯等の除雪支援について     | (1) 実情と課題について伺う。  |

| 通告順 | 議席番号 | 質 問 者 | 質 問 事 項                               | 質 問 要 旨  |
|-----|------|-------|---------------------------------------|--|
| 14  | 2    | 矢吹哲哉  | 1 今年の異常気象による農作物への被害と支援について            | (1) 米を初めとして本市の農作物被害の実態は。生産量、品質、被害額、被害農家数について伺う。<br>ア 米について<br>イ その他の作物について<br>(2) 生産額の減少に対しての県、市等の対策、支援はあるのか伺う。  |
|     |      |       | 2 子育て支援の充実について                        | (1) 平成 30 年 4 月 1 日、10 月 1 日現在の待機児童、潜在的待機児童数について伺う。<br>(2) 平成 31 年 4 月 1 日、10 月 1 日現在の待機児童、潜在的待機児童の見込みについて伺う。<br>(3) 平成 31 年度以降の待機児童、潜在的待機児童対策について伺う。  |
|     |      |       | 3 「再生可能エネルギー先駆けの地」を目指すとする市長公約の具体化について | (1) この間どのように検討してきたのか。今後どのようにして実現していくか。基本方向、具体的施策等はどのようになるのか伺う。<br>(2) 全国の市町村では、市が直接、新電力会社（公社）を設立し、市民に電力を供給する事業を行っているところが広がっている。<br>ア 本市では、こうした事例について調査・研究をしているか伺う。<br>イ プロジェクトチームを編成し「食とエネルギー地産地消のまち」宣言を行い、本市でも早急に実行すべきではないか伺う。  |
|     |      |       | 4 予算編成についての市長の基本的立場と基本方針について          | (1) 来年度の当初予算編成方針について伺う。<br>ア 枠配分方式として 20%削減とした理由を伺う。<br>イ 昨年度の 8%削減と合わせると大きな削減になる。各種事業や事務運営に支障はないのか。その影響はどのようなところに表れるのか認識を伺う。<br>ウ 市長公約の「わくわく喜多方推進事業」は別枠なのか伺う。<br>(2) 平成 31 年度以降に予定している建設事業等とその事業費について伺う。<br>事業名（仮称）、概算事業費とその合計額について伺う。<br>(3) 新たな地方債の発行についての基本方針はあるのか。また、市長はどのように考えているのか伺う。 |
| 15  | 22   | 齋藤勘一郎 | 1 農業振興について                            | 今年の水稲の作柄については、夏の高温や少雨の影響を直接受け、本市の水稲栽培において、これまでになく最低の出来高ではなかったのかと思われる。  |

| 通告順 | 議席番号 | 質 問 者 | 質 問 事 項                         | 質 問 要 旨   |
|-----|------|-------|---------------------------------|---|
|     |      |       |                                 | <p>異常気象と言われる現象が毎年発生し、今後<br/>も今年のような天候が起こり得ると考えられ、<br/>行政としても農業団体等とともに、さまざまな<br/>対策等を行わなければならないと思います。</p> <p>そこで以下の点について伺います。</p> <p>(1) 平成 30 年産米の作柄についてどのように<br/>分析していますか。</p> <p>(2) 本年の喜多方市の作況指数についてどの<br/>ように判断していますか。</p> <p>(3) 今後の営農対策についてどのように考え<br/>ていますか。</p>   |
|     |      |       | 2 待機児童対策につ<br>いて（0 歳児、1 歳<br>児） | <p>本市では、少子高齢化の中、働く若い世代の<br/>方々に本市に定住し、将来への夢と希望を託す<br/>子供の出生について住宅支援、子育て支援など<br/>さまざまな施策を講じて取り組んでおり、その<br/>成果が大いに期待されるところであります。</p> <p>そこで以下の点について伺います。</p> <p>(1) 市内全体の 0 歳児及び 1 歳児の待機児童<br/>数についてどのようになっているのか伺い<br/>ます。</p> <p>(2) 市内の 0 歳児及び 1 歳児の受け入れ施設<br/>について伺います。</p>  |
|     |      |       | 3 有害獣、イノシシ<br>対策について            | <p>これまでも質問をしてきましたが、なかなか<br/>被害が縮小されず、出没地区も年々拡大してい<br/>ます。</p> <p>今年も各地区で、春は水田の畦畔の壊し方か<br/>ら始まり、夏には水稲の中を走り回り、秋の稲<br/>穂の実った頃には水田の中を縦横無尽に走り<br/>回って水稲をなぎ倒し、さらにソバの刈り取り<br/>の頃には走り回ってソバを倒し、どちらもコン<br/>バインで刈り取ることでできない無残な姿に<br/>なってしまう、生産者の怒り、失望はいかばかりか。</p> <p>何ともしもしっかりとした対策を取らなけ<br/>ればならないと思います。</p> <p>そこで以下の点について伺います。</p> <p>(1) 今年の捕獲目標頭数は何頭か。また、実績<br/>についてはどのようになっていますか。</p> <p>(2) 電気柵の設置と効果について伺います。</p> <p>(3) 電気柵の補助事業について伺います。</p> |
|     |      |       | 4 河川整備、雑木の<br>伐採について            | <p>一ノ戸川、太田橋下流から阿賀川との合流地<br/>点までの河川において、ヤナギやアカシアの木<br/>が何年も放置されて生い茂り、大雨洪水時には<br/>大きな支障になるのではないかと危惧してお<br/>り、また、磐越西線一ノ戸鉄橋は毎年春先から</p>  |

| 通告順 | 議席番号 | 質 問 者 | 質 問 事 項                         | 質 問 要 旨  |
|-----|------|-------|---------------------------------|--|
|     |      |       |                                 | <p>秋まで運行している「SLばんえつ物語号」が通過する際の写真を撮る愛好家で、沿線の県道は大勢の人と車で今年も盛会でありました。</p> <p>その撮影の際に河川の雑木が石積みの鉄橋の重厚さと景観を妨げており、さらに年4回程度実施されるライトアップにおいても光の届かないところも出ており、これらのことを踏まえ、早急に雑木の伐採について検討していただきたいが、どのように考えるか伺います。</p> |
| 16  | 14   | 坂内鉄次  | 1 観光行政について                      | <p>(1) 観光物産協会の法人化方針の進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 旧甲斐家蔵住宅整備の進捗状況を伺う。</p> <p>(3) 道の駅「喜多の郷」の利活用について伺う。</p> <p>(4) 空き家の農泊活用について伺う。</p> <p>(5) イベント依存からの脱却と地域資源の利活用及び景観の整備について伺う。</p>                                |
|     |      |       | 2 教育行政について                      | <p>(1) 文化財等の保存と活用について伺う。</p> <p>(2) 社会教育(生涯学習)の充実について伺う。</p> <p>(3) 学校給食事業の充実について伺う。</p>   |
| 17  | 4    | 関本美樹子 | 1 学校教育行政について                    | <p>(1) 既に10年を経過し、特色ある本市教育の一環として定着している小学校農業科について伺います。</p> <p>(2) 小・中学校におけるキャリア教育について伺います。</p>   |
|     |      |       | 2 創業支援体制について                    | <p>(1) 創業支援スタートアップ支援事業及び創業支援セミナーについて伺います。</p>  |
|     |      |       | 3 障がい者への支援体制について                | <p>(1) 障がい者に対する就労支援はどのようなになっているのか伺います。</p> <p>(2) 本市において、障がい者が相談に訪れる窓口ではどのような体制が取られているのか伺います。</p> <p>(3) 社会の一員として自立し、共生していけるようなまちづくりのためには、これからどのような自立支援のための施策の充実が考えられるか伺います。</p>                       |
|     |      |       | 4 防火・防災・減災について                  | <p>(1) 本市における消防団について伺います。</p> <p>(2) 女性消防団員について伺います。</p> <p>(3) 小・中学校における防災教育について伺います。</p>   |
| 18  | 19   | 渡部孝雄  | 1 市長の市政運営1期1年目の総括と来年度予算編成方針について | <p>(1) 全般について</p> <p>市長は市政運営理念の中で「地域性や市民ニーズから、実情に即した柔軟できめ細かい制度の創出」、「地域の方々と行政が力を合わせ、課題を解決していく体制の構築」、「国・県との関係活用」と具体的に方針を示した</p>  |

| 通告順 | 議席番号 | 質 問 者 | 質 問 事 項 | 質 問 要 旨   |
|-----|------|-------|---------|---|
|     |      |       |         | <p>が、それぞれについて、現状をどう認識し、評価しているか。また、その評価を来年度の予算編成にどう反映するのか。</p> <p>(2) 個別政策について</p> <p>ア 地域振興、住民自治の拡充について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民自治の新たな形、モデル地区についての検討状況及び来年度予算への反映はどうか。</li> <li>・高齢者福祉政策として取り組まれる「生活支え合い会議」の取り組みは高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを目的としていますが、住民自治の地域拠点づくりと連携した施策として取り組むべきではないか。また、全市展開の目標期間 7 年及び地区割り規模の根拠についても見解を伺う。</li> <li>・地区公民館は地域の事情に応じて、生涯学習の範ちゅうを超えて、地域団体の事務局機能を担っているところがある。また、他市においては生涯学習機能とコミュニティセンター的機能を併存させた地区センターへの移行事例がみられる。</li> </ul> <p>現状の評価と今後について、地域振興、住民自治の拡充という視点から見解を伺う。</p> <p>イ 都市政策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立地適正化計画が本年度策定の予定で進められているが、都市計画の積極的な推進を求める。</li> </ul> <p>塩川駅西区画整理事業地区では、「空いている土地がなく、他に土地を求めた」という事例が出ている状況である。子育て世代を重点としつつもあらゆる世代、多様な人材を誘致するために、用途指定して待つ政策から塩川駅西地区の拡張、既に用途指定されている地区の最大限の活用・PR、さらに用途地域内で未整備の市道、公園、上下水道整備などの住環境整備投資を伴う人口の社会減を社会増に転換する水準の積極政策を求めるがどうか。</p> <p>ウ 税制度について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・軽自動車税の減免規定では条例第 89 条第 1 項に規定する「公益のため直接専用するもの」の対象を社会福祉法人が所有または使用するものに限定しているが、社会の</li> </ul> |

| 通告順 | 議席番号 | 質 問 者 | 質 問 事 項            | 質 問 要 旨  |
|-----|------|-------|--------------------|--|
|     |      |       |                    | 変化、さらには他市の動向からも学校教育法、障害者総合支援法に規定する事業を行う公益法人、特定非営利法人への対象の拡大のための見直しが必要と考えるが、見解を伺う。   |
| 19  | 15   | 渡部 勇一 | 1 市長の政治姿勢について      | (1) 旧県立病院跡地及び旧県立商業学校跡地における利活用計画策定について<br>ア 跡地の利活用方針の本市及び近隣町村等との連携とは。<br>イ それを具現化した形の想定はどのようなものか。   |
|     |      |       | 2 観光行政について         | (1) 日本遺産会津三十三観音めぐりについて<br>ア 施設の現況はどのようなになっているか。<br>イ 日本遺産魅力発信推進事業費国庫補助要項の内容と市の対応は。   |
| 20  | 5    | 江花 圭司 | 1 外国人技能実習生への支援について | 平成 29 年 11 月 1 日に技能実習法が施行され、ちょうど 1 年経ち、労働力不足が喫緊の課題となっている相双地方において、外国人留学生や外国人技能実習生制度を受け入れるための研修会が開催されました。<br>当日は県内企業や市町村担当者が約 30 名集まり、外国人留学生や外国人技能実習生制度の理解を深めました。喜多方関連の事業所からも参加があったということです。<br>技能実習法が施行され、技能実習の適正な実施及び実習生の保護を図るために、監理団体の許認可、届出制度が設けられ、受け入れ期間も 3 年から 5 年に延長され制度が拡充されてきました。<br>受け入れの流れは、国内の監理団体等が送り出す国側の機関と実習事業に関する契約締結、監理団体内の事業所は、監理団体経由で外国の送出機関に実習生受け入れの申し込みを行います。<br>それに基づいて、送出機関は希望者を募集し、候補者を選定します。その中から受入企業が面接し決定した実習生と雇用契約を締結し、技能実習に至るものです。<br>11 月 19 日には檜葉町からいわき市に移った「仮設檜葉ときわ苑」において働きながら日本の技能を学ぶ外国人技能実習生の制度で中国人の女性 3 人が働き始めました。<br>先進福祉を目指すためには、介護士不足の解消が重要で、外国人技能実習制度の活用における監理団体との連携が必要になってきます。 |

| 通告順 | 議席番号 | 質問者 | 質問事項                        | 質問要旨   |
|-----|------|-----|-----------------------------|--|
|     |      |     |                             | <p>(1) 11月19日に、いわき市で活用された外国人技能実習制度は、最長で5年間、日本で働きながら技能を学ぶ制度で、今国会で議論されている外国人の受け入れ拡大とは別の枠組みです。これまでは工場や建設現場などでの受け入れが中心でしたが、昨年11月1日に技能実習法が施行され、新たに「介護」が対象に加わりました。</p> <p>国会でも技能実習と外国人労働者、移民を一つにして考えているように思いますが、本市の考えと必要性について伺います。</p> <p>(2) 旧県立喜多方病院跡地及び旧県立喜多方商業高等学校跡地利活用における基本構想に看護・介護人材育成拠点施設の整備も盛り込まれるようですが、埼玉県春日部市に整備された外国人技能実習生のトレーニングセンターは、外国政府との直接協定で技能実習生を受け入れている国際人材育成機構が来日して間もない実習生の日本語教育や安全衛生教育などをさらに充実させるため整備しました。</p> <p>本市において看護・介護に特化した外国人高度技能実習生をトレーニングできる施設が整備できれば、県内外から本市が拠点となることができると考えます。</p> <p>ここで県内の状況と本市にて検討できるか伺います。</p> <p>(3) これらの技能実習生を受け入れる事業所を支援する制度が確立されていないような状況ですが、今後、国、県、市において、どのように制度設計されていくのか方向性を伺います。</p> |
|     |      |     | 2 自己肯定感の醸成とふるさとを誇りに思う教育について | <p>今年の8月3日に「中江藤樹の心学と会津・喜多方」という本が発刊されました。会津盆地には、日本人の純粋な精神が濃縮されていることが書かれています。</p> <p>東北の会津盆地に、城下町の会津若松市と、在郷町からなった喜多方市がある。</p> <p>皇室とのつながりと会津藩祖で徳川家光公の弟である保科正之公の会津若松には正統派の気風があり、幕府直轄領として代官所の置かれていた喜多方には独立独歩の気ぐらいの高さがある。</p> <p>江戸時代、喜多方は学問が盛んで、日本陽明学の祖と言われる中江藤樹の思想は、その弟子</p>  |

| 通告順 | 議席番号 | 質 問 者 | 質 問 事 項 | 質 問 要 旨  |
|-----|------|-------|---------|--|
|     |      |       |         | <p>の淵岡山（ふちこうざん）によって全国に広まるが、最も熱心であったのが喜多方である。</p> <p>藤樹学を継承しようという向学心と、後世に伝えようという責任感は、今も絶えることなく喜多方人に受け継がれている。</p> <p>これは、誠意を尽くす「孝」を教える藤樹学が喜多方人の素養となっているからだと推察する。</p> <p>喜多方には土性骨（どしょうぼね）のある人物が次々誕生している。日本のナイチンゲールと呼ばれた瓜生岩子。修養団を設立し日本の青年団体活動を広めた蓮沼門三。戦中は早期講話を訴えて内外を回り、戦後は国務大臣となってGHQの日本弱体化教育政策に断固反対した林平馬など。彼らの心胆は、飛び抜けた人間愛と祖国愛に満ちていた。また、喜多方は、明治初期の自由民権運動も活発で上からの圧力に屈しない芯の強さがある。</p> <p>会津若松には保科正之公が敷いた滅私報国の精神があり、喜多方には行動哲学としての藤樹学が今も息づいている。</p> <p>会津若松と喜多方は、互いに相手を心の中で認めつつも、それぞれの「らしさ」を失うまいとしているところがある。</p> <p>まさに、会津盆地には、日本人の純粋な精神が濃縮されている。喜多方に江戸時代の学問の火種が残っていた。</p> <p>会津喜多方学を再認識することは自己肯定感の醸成とふるさとを誇りに思う人材を輩出するための素養となると考える。</p> <p>(1) 全国 24 か国に伝わった藤樹学であったが、中でも会津北方における学統が敬虔で最も盛んであったことから会津北方の藤樹学信奉者の墓所は、岩月町にある太用寺の墓地の同じ場所に集合している。これは全国的にも例がないという。</p> <p>墓石の文字も浸食されており文化財として守ることができないか伺います。</p> <p>(2) 前の三子である岩月町上岩崎村にある遠藤謙安の庵には、蓮沼門三が禊をするためにつくった池や蓮沼門三直筆の書が飾ってあったりするが、建物自体が老朽化している。</p> <p>藤樹学から派生した建物や歴史財産を再認識し保存することも検討できるか見解を伺います。</p> |

| 通告順 | 議席番号 | 質 問 者 | 質 問 事 項   | 質 問 要 旨  |
|-----|------|-------|---|--|
|     |      |       |   | <p>(3) 中江藤樹が亡くなり、一番弟子の淵岡山が京都に藤樹学の学館を開き、全国へ広め没した後、前の三子で上高額の肝煎であった東條方秀（長五郎）が長男の娘の婿養子となって淵家を継いで、しばしば京都御所や公卿から呼ばれ講義をされた。</p> <p>藤樹学は、主に郷頭や肝煎、今でいう首長や行政執行部、地域の中心的人物を育成し知行合一の行動哲学を実践する実学であった。</p> <p>これからの職員教育と子どもたちの地域愛の醸成に活かすための機会をつくってもらうことは可能か見解を伺います。</p>   |
| 21  | 17   | 田中雅人  | <p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>2 環境省選定の生物多様性保全上重要な里地里山（3か所）の活用について</p> <p>3 雄国山、雄国山麓を「薬木の里、健康の里」として活かす取り組みについて</p> | <p>第 197 回国会が 10 月 24 日に召集され、安倍首相の所信表明演説が行われたが、その内容に違和感を持った国民は多い。法治国家としての基本を伺う。</p> <p>(1) 憲法第 99 条の「憲法尊重擁護義務」は誰に向けられた義務なのか伺う。</p> <p>(2) 近代国家の大原則は「法の支配」と考えるが、市長の基本的考えを伺う。</p> <p>本市では環境省から生物多様性保全上重要な里地里山に 3 か所が選定されている。</p> <p>1 か所目は塩川町の深沢・唐沢地区、2 か所目は熱塩加納町のヒメサユリ群生地、3 か所目は山都町の沼ノ平地区で福寿草と棚田の里が選定されている。</p> <p>環境省選定の 3 か所について、市の活用の考え方、計画、イベントなどの具体的な取り組みを伺う。</p> <p>雄国山麓には薬木の巨木、日本一と言われるメグスリノキが存在し、今ではシンボリック的存在となっている。こうした宝物をブラッシュアップする取り組みが必要と考える。</p> <p>(1) メグスリノキのギネスブックへの登録はできないか伺う。</p> <p>(2) 会津森林管理署（旧営林署）の活用は考えられないか伺う。</p> <p>(3) 雄国山、雄国山麓の一体的な活用を協議する組織が必要ではないか伺う。</p> <p>併せて、シャトルバスの一方通行運行の検討はなされたか伺う。</p> <p>(4) 雄国山麓の歴史的、文化的価値を伺う。</p> <p>併せて、駒形地区の基盤整備に伴い、明らかになった埋蔵文化財の価値について伺う。</p> |